

図書館だより

発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

主な内容

〔2面〕地区図書館&分館のページ

〔3面〕東日本大震災と図書館

〔4面〕レファレンス事例紹介／東日本大震災関連情報

千葉市中央図書館

千葉市中央区弁天3-7-7 ☎ 043-287-3980

みやこ図書館	白旗分館
(233-8333)	(264-8566)
花見川図書館	花見川団地分館
(250-2851)	(250-5111)
稻毛図書館	西都賀分館
(254-1845)	(254-8681)
若葉図書館	泉分館
(237-9361)	(228-2982)
緑図書館	あすみが丘分館
(293-5080)	(295-0200)
美浜図書館	土気図書室
(277-3003)	(294-1666)
移動図書館	打瀬分館
(287-3983)	(272-4646)

2011年は
世界化学年

今年は世界化学年ということをご存じでしょうか。

2008年末に開催された国際連合総会は、キュリー夫人のノーベル化学賞受賞から100年目に当たる2011年を「世界化学年」とすることを決めました。これは日本学術会議化学委員会が※IUPACからの呼びかけに賛同し、日本学術会議化学委員会IUPAC分科会と共に、日本が共同提案国として国際連合教育科学文化機関(UNESCO)に働きかけ実現したものです。2011年はまた、IUPACが設立されて100年にも当たります。

※ IUPAC・・・国際純正・応用化学連合 この機会に化学に関する本を手に取ってみてはいかがでしょうか。

「化学」に関する本は、本の背に表示されている番号430～439（化学）で直接、本棚から探すほかに、館内検索機・千葉市図書館のホームページの検索画面で「分類記号」欄に番号を入力して探すことができます。

※背ラベルの表記は、館ごとに多少異なっている場合がございますのでご了承ください。



マリー・キュリー 旧名マーニヤ・スクロドフスカ
(仮 1867-1934)

物理学者。ポーランドのワルシャワ生まれ。夫ピエール・キュリー（仮 1859-1906）とともにパリ大学で磁気と放射能について研究し、ラジウムを発見した。1891年にフランスに移住し、ソルボンヌ大学で学ぶ。やはりソルボンヌ大学で研究していた夫は、1901年に同大学の物理学教授になる。ピエールとその兄のジヤックはピエゾ電気を発見。学位論文のために彼女は先にピエクレルが発見した「放射能」について研究した。ピエールとマリー・キュリーはベックレルとともに放射能の発見の功績により、1903年ノーベル物理学賞を受賞。鉄道事故（1906）で夫が死んだのち、キュリー夫人は夫の大学教授の職をうけ継ぎ、1910年にポロニウムとラジウムの※単離に成功。1911年にノーベル化学賞を授与された。白血病で死去したが、長い間放射能にさらされていたことが原因ではないかと考えられている。

※単離・・・混合物中から一つの物質だけを純粋な形で取り出すこと。

キュリー夫人略伝

化学に関するおすすめの本

「よくわかる化学」山本喜一 藤田勲／著

日本実業出版社 2008 分類430

成美堂出版 2006 分類430

<参考資料・ホームページ>

- ・『岩波=ケンブリッジ 世界人名事典』デイヴィッド・クリスタル／編 金子雄司 富山太佳夫／日本語版編集主幹 岩波書店 1997 分類R 280.3
- ・世界化学年2011 日本委員会ページ 「<http://iyc2011.jp/>」

地区図書館&分館のページ

みやこ図書館

「こども一日図書館員を募集します」

当館では、昨年の夏にもご好評いただいた「こども一日図書館員」を今年も実施します。

図書館の仕事って、本を貸して、返してもらつて…ほかにどんなことがあるのかな?実際に自分たちで行つていただきます。この体験を通して、図書館のことを、より多く知つていただきたいと考えています。

・日時 7月28日(木)・29日(金)の

午前9時30分～12時

・対象 小学3年生

・人数 各日それぞれ6名

・申込 往復はがきで7月15日(金)必着

※くわしくは、お問い合わせください。
みやこ図書館 ☎ (233) 8333



若葉図書館

若葉図書館では、今年か

ら1・2歳児を対象に「わらべうたの会」を開始しました。毎月第2水曜日です。

また、西都賀分館でも、

中学生へのサービスとして、近隣の中学校へブックトーク等の出張おはなし会を行います。

泉分館では、大人向けに近隣の社会福祉施設の入居者の方々へ、本の読み聞かせ等のおはなし会を白井公民館の講習室で開催しています。

若葉区の豊かな自然を眺めつつ、本との出会いを是非お楽しみください。

花見川図書館

科学遊びの部屋にどうぞ

こてはし台にある花見川図書館では、毎年夏休みに「科学遊びの部屋」を開設しています。

本に紹介されている工作をしたり、展示しているおもちゃを動かして、実際に科学遊びを体験できます。

千葉市科学館の協力を得て、ワークショップも開催。

科学館スタッフの丁寧な説明や指導は大人気です。

昨年は磁石をテーマにし、子どもたち自身が遊び

を工夫する姿も見られました。

今年はコマやかざぐるまなど、くるくる回るもの

を中心準備中です。是非ご家族で遊びにきてください。

開催日時 8月9日(火)～11日(木)

午前9時30分～午後0時30分(出入りは自由です)



緑図書館 あすみが丘分館

あすみが丘分館では、定期的に企画展示を行つています。

現在は、7月20日(水)まで「パパどこか連れてつて!」を開催し、千葉県内の遊戯施設や観光スポットを紹介しています。図書資料のほか、千葉県観光物産協会のご協力を頂き、施設のパンフレットや割引券も配布しています。さわやかな季節、家族で郷土千葉を巡つてみませんか?きっと新しい発見があるはずです。

また、7月22日(金)からは、「宇宙の不思議」をテーマに、星の誕生や星座の紹介をします。夏の夜空を見上げながら、神秘な宇宙についてをはせてみてはいかがでしょうか?多彩な飾り付けにもぜひ注目してください。



稲毛図書館

「レフアレンス室をご存じですか?」

稲毛図書館には2階カウンターの奥にレフアレンス室があります。簡単に言うと「調べものをする部屋」です。レフアレンス(reference)を日本語に訳すと「参考調査」あるいは「調査相談」と言います。

そのための参考図書(辞書・事典・図鑑等)、地図(住宅地図、地形図等)、郷土資料(千葉の歴史、地図、物語等)、行政資料(千葉県・千葉市出版の書籍、各種資料等)を所蔵しています。

ご自由にお入りいただき皆様の調査・研究にご利用ください。(専用のデスク8席有)

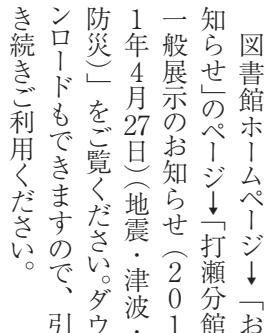
また、知りたい情報が収録されている資料を探して、調べもののお手伝いをいたしますのでお気軽にカウンターの職員までご相談ください。

美浜図書館 打瀬分館

「身近で頼れる図書館」をめざして

打瀬分館では、6月まで、今、関心の高い地震や津波、防災に関する図書、様々な立場で書かれた原子力に関する図書の展示をし、図書リストの配布を行いました。また、公開されている国や地方自治体などの情報を探して、参考情報としてまとめ、好評でした。

今後も引き続き関連図書リストの更新をし、暮らしに役立つ情報の提供に努めます。



東日本大震災と図書館

東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日は、忘ることのできない日となりました。千葉市、特に美浜区では激しい揺れとともに、液状化現象の影響を受けました。当日の美浜図書館打瀬分館の様子です。

午後2時45分過ぎ、不気味な地鳴りとともに天井から吊るされた蛍光灯が波を打つように揺れる。「危険ですから書架から離れてください!」の声を待っていたかのように書架の本がバタバタと崩れ落ちる。閲覧席の利用者はその異様さに立ち上がり始めたが、落ち着いた様子で揺れの収まるのを待っている。長い…長い…どのくらいの時間が経つたのだろう。揺れの収まるのを待ち、館内の利用者を館外へ誘導した。

ふと館内を見渡すと約3分の1の本が書架から落ち、蛍光灯のアームは曲がっている。大ガラスを多く使った打瀬分館で、もし1枚でもガラスが割れいたら…、書架や本で利用者が押しつぶされていたら…、時間が経つにつれぞつとする。打瀬分館と同様に多くの本が落下した美浜図書

館は、当日は蔵書点検期間中であったこともあり、翌日も開館する打瀬分館に応援の職員を送つてくれたが、書架に本を戻し終わって時計を見ると、午後8時を回っていた。

この様な状況でも、人的な被害が全くなく避難できたのは利用者の皆さんのが冷静な行動とご協力のおかげと心より感謝しています。

この震災を通して、図書館利用の中で地震に遭われたときは、

★揺れを感じたら速やかに書架から離れる。

☆落ち着いて、状況を判断する。
☆係員の誘導や指示をよく聞いて行動を起こす。

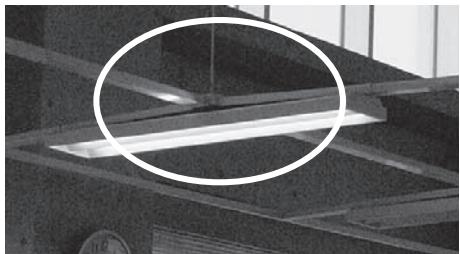
ことが大切であり、あわてずに行動していただくことが必要であると痛感しました。

その後の計画停電等のため、千葉市図書館は、貸出、予約サービス、各種行事の中止、また、余寒の残る中、一部の館で暖房なしの利用など、様々な面で利用者の皆様にご不便をおかけしましたが、一方で地域の災害関連情報などを迅速に提供してまいりました。

この震災を契機として災害に対し図書館としてすべき対応や、スピーディーな情報提供ができる体制について考え、「安心・安全」な「身近で頼れるみんなの図書館」を目指します。



書架から崩れ落ちた本の山(美浜図書館)



揺れで曲った蛍光灯の釣り金具(打瀬分館)

津波が発生する仕組みを知りたい。
また、過去に起こった津波についても知りたい。
まずは、百科事典で概要を調べてみます。『世界大百科事典
改訂新版 18』(平凡社 2007) の583～584ページ
に「津波」の項目があり、津波の原因と規模、防災について
記載されています。

より詳しい解説を得るためにには、専門事典が有効です。『津波の事典』（朝倉書店 2007）には、津波が発生する仕組みから、予測・防災まで、津波に関する情報が包括的にまとめられています。津波の研究や防災に、特に大きな影響を与えたとされる17の津波が取り上げられており、詳しい解説がなされています。参考文献も紹介されているほか、巻末には「日本およびその周辺で発生した主な津波」が年表の形でまとめられています。

『地震・津波と火山の事典』（丸善 2008）は、地震、津波、火山についての入門書的な事典です。津波については61～86ページに記載があり、発生の仕組みから過去の被害、対策などについて、カラー図版を多数用い、平易な文章でわかりやすく解説されています。巻末に「日本の主な地震・津波災害」の年表が掲載されています。

また、津波を含め、日本で起こった災害についてまとめられた資料として『昭和災害史事典（全6巻）』（日外アソシエーション）、『平成災害史事典（既刊3冊）』（日外アソシエーション）があります。日本で発生した自然災害（天災）と社会的災害（人災）が、発生日順に掲載されており、それぞれの概要をることができます。巻末の「災害別一覧」、「都道府県別一覧」から調べることも可能です。

事典以外の資料として、過去の三陸海岸津波体験者への取材記録である『三陸海岸大津波』（吉村昭 文春文庫ほか）があり、当時の被害状況や人々の行動が克明に記されています。このほか、津波に関する図書は、海洋学（請求記号452）や地震学（請求記号453）の棚をご覧ください。

東日本大震災における 図書館の対応等関連情報

夏期節電対策

図書館では、東日本大震災の影響による電力不足に対応するため、これまででも照明の一部消灯などを実施してまいりましたが、今後さらに、夏に向けて大幅に電力需要が高まり、電力不足が見込まれることから、千葉市全体として、6月13日から9月30日まで、病院などの一部施設を除く43

4施設で使用電力を前年比15%以上削減することを目標に夏期節電に取り組んでいくこととなりました。

つきましては、大変ご不便をおかけいたしますが、図書館でもこれまでの照明の一部消灯に加え28度の温度設定の徹底など引き続き節電に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力いただきますようお願いします。

夏の主催事業

例年図書館では、学校が夏休みとなる期間に様々な催しものを実施し多くの方にご参加いただいております。

今年も様々な事業を実施する予定ですが、夏期の節電対策を進めるため、事業を午前中の比較的涼しい時間帯に実施する予定です。具体的な実施時間や事業内容につきましては、各図書館の事業案内をご覧ください。

中央図書館カルバン

開館時間：火～金曜日 9：30～21：00
土・日曜日・祝日 9：30～17：00

2011年		7月			休館日		
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

地区図書館カルバン

開館時間：火～日曜日 9:00～17:15

2011年		7月			休館日		
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

2011年 8月 休館日

2011年		6月			休館日			
日	月	火	水	木	金	土	日	
	1	2	3	4	5	6		
7	8	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	31					

千葉市に避難されている方へ (図書館利用登録の「J」案内)



で市内の各図書館に募金箱を設置しました。集められた支援金は、日本赤十字社を通じて広く被災者の救護活動に役立てさせていただきます。

※5月31日までの支援金受付状況（千葉市の施設全体）

13、383、799田